

# 1. がん診療における代謝・栄養学

## ①がん患者と栄養治療

## ②がん患者における代謝・栄養状態の変化

- 1 がん患者の栄養・代謝障害の疫学
- 2 がん患者における食事摂取量と体重の変化
- 3 がん悪液質

## ③栄養代謝変化と臨床転帰

- 1 がん患者における代謝・栄養障害の関連症状
- 2 代謝・栄養障害による抗がん治療への影響
- 3 代謝・栄養障害と生命予後

## ④がん診療における栄養治療

- 1 がん診療における栄養治療の目的
- 2 栄養治療で期待される効果
- 3 栄養治療の早期開始の意義
- 4 栄養治療における多職種連携の意義

## 2. 栄養評価と治療の実際

### ① 栄養評価

- 1 栄養スクリーニング
- 2 栄養アセスメント
- 3 栄養士が行う栄養評価

### ② エネルギーおよび栄養基質

- 1 エネルギー必要量
- 2 必要たんぱく量
- 3 エネルギー基質の選択
- 4 ビタミンと微量元素

### ③ 栄養治療

- 1 栄養指導（栄養カウンセリング）の効果
- 2 栄養投与経路の選択
- 3 栄養治療の有害事象
- 4 在宅栄養治療

### ④ 運動療法（またはリハビリテーション）

- 1 がん患者における複合的介入
- 2 運動療法の種類

### ⑤ 栄養治療における薬物療法

- 1 副腎皮質ホルモン剤
- 2 n3系脂肪酸
- 3 消化管運動促進薬
- 4 アナモレリン塩酸塩
- 5 その他のわが国でがん患者に用いる栄養剤

### 3. 特定の患者カテゴリーへの介入

#### ①手術療法を受ける患者（手術患者）

- 1 周術期の栄養治療について
- 2 術後早期回復プログラム（ERAS）について
- 3 栄養障害のある手術患者の栄養治療
- 4 周術期の免疫栄養（immunonutrition）

#### ②放射線療法を受ける患者

- 1 放射線療法における栄養障害
- 2 管理栄養士による栄養カウンセリングと経口栄養補助
- 3 嚥下障害への予防的対応
- 4 経鼻胃管もしくは内視鏡的胃瘻造設術による予防的経腸栄養投与経路の確保と  
早期の経腸栄養による栄養治療の実施
- 5 経口摂取，経腸栄養不耐性の場合の静脈栄養治療の実施
- 6 グルタミンが放射線性粘膜炎を予防する効果
- 7 プロバイオティクスの放射線誘発性の下痢への効果
- 8 粘膜障害への成分栄養の効果

#### ③がん薬物療法を受ける患者

- 1 がん薬物療法における栄養治療について
- 2 がん薬物療法患者における栄養評価
- 3 がん薬物療法における栄養治療
- 4 わが国で可能な栄養治療

#### ④高用量がん薬物療法や幹細胞移植における栄養治療について

- 1 適切な栄養治療と身体活動の確保
- 2 低細菌食
- 3 グルタミン

#### ⑤がんサバイバー

- 1 がんサバイバーの定義
- 2 がんサバイバーの身体活動と栄養治療

#### ⑥抗がん剤を投与していない進行がん・終末期がん患者への栄養治療

- 1 進行がん・終末期がん患者における栄養スクリーニングとアセスメント
- 2 進行がん・終末期がん患者への栄養治療
- 3 進行がん・終末期がん患者と家族の食に関する苦悩と輸液への思い